

No.76

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会



〒630-8580
奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

奈良市議会だより



秋空のもと 元気に玉入れ(都跡小学校運動会)

9月定例会

奈良市・月ヶ瀬村・都祁村合併協議会設置へ 合併の是非、新市建設計画など協議

奈良市と月ヶ瀬村・都祁村との合併について任意の協議会を設置して協議が進められてきましたが、今定例会に地方自治法に基づく合併協議会の設置についての議案が提出されました。本案は、合併問題検討特別委員会に付託して慎重に審査を行い、原案どおり可決しました。今後は、法定協議会で、合併の是非、合併協定項目、新市建設計画について協議が進められます。

(合併協議会は10月1日に設置され、同月2日に第1回の協議会が開催されました。)

合併問題検討特別委員会で審査 合併協議会設置案可決

平成14年度奈良市歳入歳出決算及び奈良市3公営企業会計決算の認定については、15人の委員で構成する決算特別委員会に審査を付託しました(審査概要は4面に掲載)。一般会計、特別会計決算における財政状態は、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率が89・4%で対前年度比1・2ポイント、公債費比率は14・1%で対前年度比0・6ポイントとそれぞれ改善されていますが、依然として硬直化の傾向にあります。公営企業会計では、水道事業会計及び宅地造成事業費特別会計決算は黒字決算となっていますが、簡易水道事業会計決算は赤字決算となっています。このうち水道事業会計は、有収水量が減少し、給水収益が前年度に比べ減少しましたが、下水道使用料徴収負担金の増加などにより総収益は微増となっています。しかし、東部地域等水道整備事業の一部供用開始により、減価償却費が増加するなど総費用が増加したため、総収益の増加分を上回り、純利益は前年度より減少しています。

経常収支比率 89・4% 依然硬直化の傾向

本市議会は、平成15年9月定例会を9月2日から19日までの18日間の会期で開きました。この定例会には、平成14年度奈良市歳入歳出決算の認定など報告4件、奈良市・月ヶ瀬村・都祁村合併協議会の設置についてなど議案18件が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

厳しい決算状況に 対する認識は

財政健全化に向けて鋭意努力

問 平成14年度決算では、
*1 財政力指数は0.825、
*2 経常収支比率は89.4%と
財政は依然として硬直化の傾
向にある。起債の年度末残高
も昨年度より21億円あまりの
増となっている。このような
厳しい決算状況をどのように
認識しているのか。

答 歳入の根幹をなす市税

行政姿勢

問 市税の大幅な減収
依然として厳しい決算状況

答 9月5日、8日、9日の本会議では、17人の議員(うち代表質問7人)が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、厳しい決算状況に対する認識や都市整備、教育、保健福祉などについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

危機管理・地域住民の 安全対策

収入の落ち込みが大きく、大変厳しい状況は依然として続いている。経常収支比率や公債償比率が若干改善しているものの、財政力の強弱を示す財政力指数は、昨年度より低落傾向にあることから、今後とも財政健全化に向けて鋭意努力していきたい。

教育 小学校トイレの改善 各学校の事情に応じ実施

問 老朽化により5K(暗い、汚い、臭い、怖い、壊れている)と揶揄(やめ)され、排便を我慢する子どもたちの健康・精神面から小学校トイレの改善は喫緊の課題である。補正予算2千万円での具体的な取り組みと今後の計画は。

答 補正予算は、小学校20校程度を対象としたもので、ブリスの修理・塗装・洋便器の設置など、各学校の事情に応じた修繕を行いたい。また、平成13年度から実施している大規模改造によるトイレ改修を、来年度以降も年次的に実施していくとともに、今回補正予算で行うトイレ修繕も継続して実施し改善していきたい。

競技スポーツのレベル向上

夢と感動、郷土愛をはぐくむ

問 スポーツの基礎となるウエイトトレーニング設備の整備状況と、競技スポーツのレベル向上を図る考えと今後の方針は。

答 競技力の向上については、県が県体育協会に委託し、各競技団体と連携して選手の育成強化を行っている。施設の整備については、競技力の向上が図れる付帯設備を備えた施設として検討を進めたい。また、レベルの高い指導者の養成や招請、筋肉トレーニングなどについては、十分に検討したい。



薬物乱用、性感染症などの予防教育の教材

市立学校・幼稚園の 統廃合

問 市立幼稚園・小学校・中学校の統廃合についての考えは。

答 少子化、過疎化、保護者のニーズの多様化などさまざまな要因で幼児・児童・生徒の数が急速に少なくなっている学校・幼稚園がある。教育的側面から見れば、子どもは集団の中で育てるべきであり、今後は、あらゆる課題について検討していきたいと考えている。

市議会議員表彰 額規程を廃止

市の表彰条例により、市政有功者として20年の特別表彰を受けた議員の功労を、永久に記念するたため、肖像画を議事堂に掲額することを定めた市議会議員表彰額規程について、

議会制度等検討協議会で検討を進めてきましたが、この廃止を全会一致により決定しましたので、平成15年9月19日付で規程を廃止しました。

*1 財政力指数 財政の力を示す指数で、市に必要な財源がどれくらい自力で確保できるかを表す。指数が1以上の団体は財政力が強いとされ、普通交付税は交付されない。

*2 経常収支比率 財政の健全性を判断するもので、70%~80%が望ましく、80%を超えると自主事業ができにくくなる。

左右共生社会と 教育的配慮

問 現在の社会は右利き中心であり、左利きへの配慮がなすすぎる。左利き児童生徒への指導と教育的配慮をどのように考えているのか。

答 学校教育においては、子どもや保護者の願いを尊重し、左利きの園児・児童・生徒への教育的ニーズに応じた指導及び配慮をしている。また、人々が対等な立場で互いに尊重し合い、左利きであることが自然に受け入れられる左右共生社会をめざし、取り組んでいきたい。

スクールカウンセラー さらなる拡大は

問 不登校の小・中学生に対し、スクールカウンセラーが配置されたことによる効果とさらなる拡大を図る考えは。

答 心の悩みを持つ児童・生徒やその保護者がスクールカウンセラーと話しをすることにより精神的に落ち着き、問題解決に向け積極的に踏み出していくなど現状の改善がみられ生徒指導上、成果が得られている。



JR奈良駅付近連立事業で仮設された駅舎

JR奈良駅付近連立事業 スケジュールと関連道路整備は

問 JR奈良駅付近連立事業の今後のスケジュールと関連する道路整備の概要は。

答 京奈和自動車道は、高規格幹線道路として、産業においても、また、渋滞緩和においてもなくてはならない道路である。撤回する意はない。

京奈和自動車道 ルート案の撤回は

問 京奈和自動車道大和北道路のルート決定で、市長が有識者委員会で意向を示された案は、平城宮跡のバッファゾーン(緩衝地帯)をかすめて通るものである。姉妹都市

都市整備

慶州市では、高速道路等の計画時に、世界遺産候補地に望ましくないとし路線を大きく変更したと聞く。慶州市に学び、速やかに撤回の意見を国に上げるべきだと考えるが。

慢性的交通渋滞の緩和・解消 近鉄西大寺駅周辺整備は

問 基盤整備の最も重要なことは、周辺の慢性的な交通渋滞の緩和、解消を目指す。今後どのような駅前整備を進めるのか。

答 平成15年9月7日に仮駅舎がオープン、中旬には桜井線が仮線に切り替えられる。その後、関西線の仮線工事を、仮線運行に切り替え後、本格的な高架工事に着手される。平城遷都1300年記念事業に合わせた22年度の完成予定と聞いている。関連道路の整備は、大宮通り線、大森高畑線、奈良橿原線の跨(二)線橋が撤去され、平面で拡幅整備される。大森高畑線は4車線となり、奈良橿原線は、杉ケ町高畑線から春日中学校付近まで拡幅整備される。



電線類地中化が待たれるならまち(鶴福院町付近)

電線類地中化事業 経緯と今後の計画は

問 電線類地中化事業は、世界遺産を有する市の歴史的風土と景観、町並み保全や災害対策等の観点から非常に意義のある事業である。これまでの経緯と今後の計画は。

答 平成12年度より事業に着手しているが、唐招提寺・薬師寺周辺道路の延長930メートル及び、興福寺五十二段下から鶴福院に至る市道延長420メートルが16年度に完成する予定である。今後は、

れば、本格的に設計し工事着手ができるのではないかと考えている。

世界遺産のある西ノ京周辺 交通状況の改善は

ならまち及び東大寺周辺の地中化を重点的に促進していきたい。

問 平成12年8月に行政と一体となった仮称「世界遺産西ノ京周辺を守る会」が発足し、西ノ京周辺整備計画につ

保健福祉

ファミリーサポートセンター

問 地域子育て支援センターの整備とファミリー・サポートセンターの設置をどのように考えているのか。

答 ファミリー・サポートセンターについては、次年度の設置に向けて関係課で協議を進めている。また、地域子育て支援センターについても、その必要性は十分認識をしている。ファミリー・サポートセンター設置と共に検討していきたい。

公社所有地の活用は 保健所との複合施設も

問 土地開発公社所有のJR奈良駅百貨店用地は、有効利用しないと年1億円以上の

知的障がい者の保護者 高齢化にどう対処

問 障がい者の生活は、多くの部分で、保護者をはじめ家族の犠牲の上に成り立っている。知的障がい者の保護者の高齢化に、どのような対処をしていくのか。

答 保護者の高齢化に伴う将来への不安は、障がい者を抱える家族にとって一番の問題であることは十分認識している。少しでも不安を解消するべく施設や在宅サービスの充実が十分とは

人事案件

- ▽農業委員会の委員の推薦
委員の辞任に伴う後任に金野秀一氏の推薦を可決
- ▽教育委員会の委員の任命
植松滋子氏の任命に同意

- 意
- ▽公平委員会の委員の選任
中南又彦氏の再任に同意
- ▽人権擁護委員の候補者の推薦
須藤幸治氏の推薦に同意

在進めている仮称西ノ京六条線は約6割が整備済みで、早

期に完成するよう努力していきたい。

金利がかさむ。保健所など複合施設用地として利用する考えは。

答 保健所については、医療検査センターの隣で検討中であるが、質問の土地は相当高くついでおり、利用すると

いえない。平成16年4月開設に向け、社会福祉法人が、秋篠町に知的障害者授産施設を建設している。今後も引き続き民間活力で施設の充実を図

環境

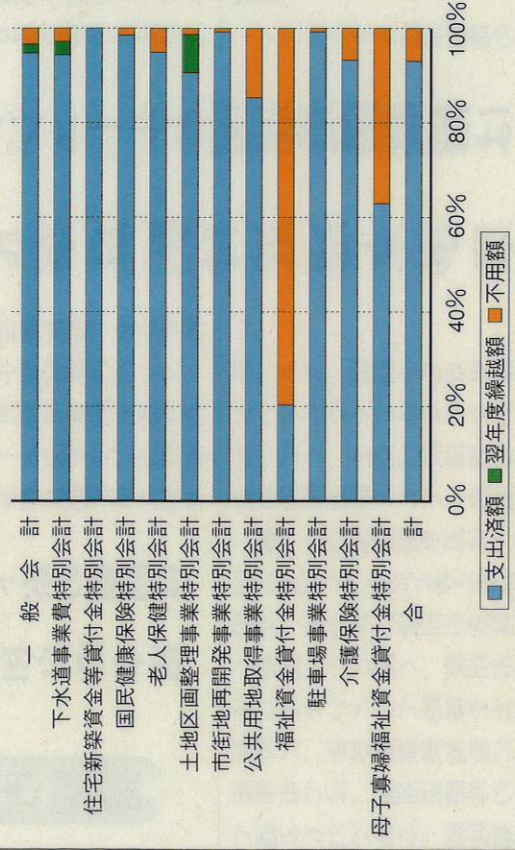
ダイオキシン 削減対策工事

問 平成11年度から13年度にかけて行われた環境清美工場のダイオキシン削減対策工事は、基幹システムに変更がなく、それに伴う差額の問題、追加工事や国の補助金との関係も一切何ら問題なかったと

答 工事は性能発注であり、何ら問題ないと思っている。この厳しい財政状況の中で、無駄を省き、得策だという方法で施工したと理解している。決して、問題を起こしてはいないと確信している。

平成14年度一般会計・特別会計歳出決算の状況

(各会計の予算総額を100とした場合の執行状況を示す)



不用額の要因

問 一般会計・特別会計を合わせ、66億1千500万円と多額の不用額が出ている

答 不用のうち、国庫補助承認の減によるものや、事業中止等の要因による必然的な不用を中心として、随時、減額補正等の措置を行い、不用額を抑えるべく努めたが、1900億円の会計規模の中で、その把握や対応が難しくな

決算特別委員会の審査概要

委員会は、9月9日、11日、12日及び16日の4日間開き、付託された平成14年度の一般会計決算、11特別会計決算、3公営企業会計決算について審査した結果、いずれも認定すべきものと決定しました。以下は、委員会審査での質疑・答弁の要旨です。

一般・特別会計

つたのではないかと考えている。

予算の適正執行

問 不用額がゼロであることが最も望ましいとの監査委員の意見を受けて、今後どのようにされようとするのか。

答 的確な予算編成と適正な執行管理により、不用額の減少を図りたい。

高齢者のIT講習

問 60歳以上の市民を対象とするIT講習を老春の家等で開催する考えは。

答 老春の家では、現在、各種講座を開いている。今後この講座の中で検討したい。

特別措置の今後は

問 同和对策にかかわる特別措置法が失効したが、今なお固定資産税・都市計画税、国民健康保険料の減額が実施されている理由は。

答 法失効後の経過措置として実施している。県下の状況も勘案しながら、廃止に向けて取り組んでいきたい。

広告つきベンチ

問 バス停の広告つきベンチは違反広告物になるのでは。

答 道路法に抵触するだけでなく、屋外広告物条例でも違反物件となり、不法占有物

- 決算特別委員**
- 委員長 吉田 文彦
 - 副委員長 佐藤 亨
 - 浅川 仁 三浦 教次
 - 大坪 宏通 矢野 兵治
 - 山中 益敏 藤本 孝幸
 - 山口 裕司 幾田 邦夫
 - 高杉美根子 井上 昌弘
 - 松田 未作 橋本 和信
 - 岡本 志郎

件として撤去すべき性格のものである。しかし、利用者の利便性には、奇与しているという現実もあり、長年放置されてきたのが美態である。

施設業務委託料

問 総合医療検査センターの施設業務委託料は。

答 施設の管理業務については、市医師会に委託している。委託料は、毎年見直しを行い、適正な業務に見合うものとなっている。

市立病院

問 市立病院に関する取り組みは。

答 国立病院が担っている医療水準を確保するとともに、より医療サービスが向上できるよう、財政的にも十分に配慮をしながら、万全を期して病院の移譲を受けるべく努力していきたい。

ダイオキシン類削減

問 ダイオキシン削減対策

工事は、適正に実施されたか。

答 ダイオキシン類の平成14年度の測定値は4炉平均で0.011ナノグラムで、新設炉の基準をはるかにクリアし性能は十分確保されている。工事は適正に実施されたものと確信している。

公園ボランティア

問 公園ボランティアの活動状況は。

答 活動されている公園数は31カ所と、年々増加している。今後は、各グループ間の情報ネットワークを構築するため、情報誌「瓦版」を発行し、10月には、ボランティア相互の親睦を図るイベントを実施したい。

公園整備

問 二名地区の公園の整備計画は。

答 整備に要する国の財源等の見直しにより、補助制度も大変厳しくなっている。

二名地区の公園計画は、国の補助基準の動向や各校区の公園の配置状況、費用対効果を見極め、調査を進めていきたい。

中学校の修学旅行

問 中学校の修学旅行の行き先は沖縄方面が多く、その内容が、偏った教育となっている。子どもたちに影響は。

答 沖縄は、平和学習はもちろんのこと、世界遺産・首

里城等文化施設の調べ学習など、多くの学習効果が期待できる修学旅行地である。

医療費の一部負担金

問 医療費の一部負担金の減免については。

答 国の通達では、一律に減免を行うことは保険制度の建前から不適当とされている。各市の取り扱いに大きなばらつきがあるので他市の状況を調査したい。

水道事業会計

水道料金減額制度

問 30戸以上の集合住宅における3パーセントの水道料金減額制度は。

答 集合住宅住民への実効あるサービス提供のため、現行制度の見直しも視野に入れながら、一時的な受益ではなく、現在のサービスを低下させない範囲で減額できる制度を検討していきたい。

水源地域の研究機関

問 水源地域の水質や保水能力の保全対策の研究機関は。

答 水源の水質保全対策の調査や森林保全のための森林実態調査など、さまざまな調査研究をし、日本水道協会の試験研究センター、水道技術研究センターに参画して取り組んでいる。

宅地造成事業特別会計

払い下げ土地の処分

問 大蔵省から、公共事業に伴う代替用地としての用途

指定を条件に払い下げを受け、造成した秋篠町の完成土地は。

答 用途指定の解除については、近畿財務局を経由して、財務省で審議中である。現在、価格設定等事務上の検討を行っている。

合併問題検討特別委員会 月ヶ瀬村、都祁村を視察

合併問題検討特別委員会は、9月29日に月ヶ瀬村、都祁村の2村を視察しました。2村との合併については、9月定例会で合併協議会設置の議案を可決したことにより、10月から本格的な合併協議が開始されます。

市議会の特別委員会としても、月ヶ瀬村、都祁村の実情を視察することにより、今後さらに議論を深め、委員会審査の参考に資するため実施したもので、2村の産業、文化、福祉、教育等の多くの施設をはじめ、広く両村を視察しました。



都祁村情報館を視察する合併問題検討特別委員会委員